

「家がいいね」 第55号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2008. 12. 15

本当に必要なのは、役に立たない時間

師走だからと言つのではありませんが、いくら時間を寿司詰めにしても、そこに生み出す力は宿っていないようです。その実例が本号の遅れです。

お風呂でぼんやりと湯につかっている時、本を読むのを忘れて窓の外をただ見ている時、夕陽が樹の先から外れて行くのを見送る時、何となく伝えようかなと思う言葉が浮かんできます。



料理で生地を寝かせる時間と同じように、一見役に立たない時間と思っても、考えが熟成するための時間は、無駄ではなく必須なのです。

人生の熟す時・・・

谷川俊太郎さんの詩を徳永進さんが紹介しています。(「詩と死をむすぶもの」朝日新書)

一瞬は熟れきったとき
永遠となる
言葉は熟れきったとき
沈黙する
果実は熟れきったとき
地に帰る
死を
熟れきった生として
ついでに



死んでも捨てられないモノ？

「終わりよければ」いせの会で、エンディングノートを自分たちで書いてみようと思画しています。伝えようと思つた時には、既に時間がないということが多い、残された家族が遺志をどのようになら考えたらいいのか悩むことも多いようです。準備された既成の書式のノートも実際に見てみました。一人の人間が生きた内には、沢山の事柄や品物が詰まっているのだと、改めて考えました。遺品整理では、葬儀より多大な時間を要します。

遺品整理の会社もある世の中です。その体験を聞くと、家いっぱい的大量のモノをどうしようかと途方にくれる所から相談が始まるようです。後に受け渡せるようなモノは少なく、大半は捨て切れなかったゴミの類だと。独り暮らしほど、その整理は大変な作業になるそうです。

自分一人の今までの手持ちの品物や書類などを手放すほど、一番難しい事はありません。知らない間に、どんどんモノが溜まる時代なのです。

「終わりよければ」いせの会は、市民の懇談会です。
12月19日(金) 19時～ いせクラブ 学教室

年末年始の休業と、その他のお知らせ

14日の休日診療所の診察をしました。けっこ胃腸風邪(ウィルスにより、嘔吐・下痢が頻回)が流行っています。

トイレの後でしっかり手を洗うように気をつけましょう。

インフルエンザ流行の兆しもあります。

予防接種は、できれば、年内に済まされるように、お願いします。

健診は、12月20日で終了します。

本年の診察最終日は、12月27日(土)まで
来年の診察開始日は、1月5日(月)からの予定です。

この8日間の休診の間も、訪問診療や訪問看護は必要に応じて実施します。準備にご協力下さい。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>